

附属幼稚園だより 第8号

令和4年11月1日発行 文責:室野亜津子

「したい 知りたい やってみよう」
がっぱいの幼稚園

附属幼稚園の教育を地域に発信

10月22日は、おかげさまで無事に幼児教育研究協議会を開催することができました。園児の登園ご協力ありがとうございました。他園の先生方に保育を見ていただき、お互いに勉強になりました。

『したい 知りたい やってみよう』を育む環境構成と教師の援助」というテーマで研究をしてきた成果を会場に来てくださった方々や、オンラインでご参加の方々にお伝えしました。例えば・・・

★教師は、仲間の一員として、遊びが始まるきっかけをつくったり、楽しさや困難さを共有したりすることが大切で、それが遊びの充実や発展につながっていく。

★共通の目的をもった遊びの中で困難さに出会った子どもたちは、今までの経験を生かしながら、解決に向けて考えたり、工夫したり、友達と協力したりする。これは、協同性の芽生えや思考力の芽生えにつながる。

★新しい環境と出会ったとき、子どもたちの興味、関心は高まり、主体的に遊ぶ。教師が意図的に新しい環境をつくっていくことが大切である。

★「子どもの思いを教師がつかむ」→「思いが実現するような環境を教師が作る」→「子どもの思いが実現する」この繰り返し、子どもの「したい 知りたい やってみよう」を育むことにつながる。

さらに、10月27日は島原市保育会から21名の園長先生や保育士の方々が、本園の視察研修に来られました。次のような感想をいただきました。

☆子どもたちが思い思いに遊んでいる姿があちらこちらで見られ、活気づいた園内が印象に残ります。数人の園児さんとお話ししてみましたが、どの子どもさんも自分の言葉で自分の思いを伝えようとするので、どのようにしたら、このように社会性が育っていくのかと思いました。

☆室内や戸外での自由保育をされていて、子どもたちものびのびとやりたい遊びを自由に楽しんでいて、子どもの主体性を大切にされているなと思いました。私の園では、一斉保育で「〇〇するよ。」「〇〇して。」ばかり言っていることに気付かされました。よりよい環境をつくって、今日学んだ自由保育を少しずつ取り入れていきたいと思います。

☆先生たちの声かけがとても優しく、子どもの目線に立って話していることが印象的でした。忙しくなってくると、子どもへの対応がおろそかになったり、「ダメ」と言ってしまうたりすることがあるので、今回の研修を通して、もう一度考え直したいと思いました。

研究や教育を発信し、地域に貢献することが附属の使命の一つです。

今月は、多くの方々に本園の教育の良さを知っていただくことができうれしく思いました。

11月行事予定

- 2 (水) スライム遊び
- 7 (月) 保育参観 (必須)
- 8 (火) 保育参観 (必須)
附属小学校入学説明会 (年長保護者)
- 10 (木) 弁当一時終了日
- 11 (金) 親子清掃 第3回育友会全体会
- 14 (月) 入園選考に伴う休園 18 (金) まで
- 21 (月) 個人面談 28 (月) まで
- 24 (木) どんぐり公園行き
- 28 (月) 附属中学校の生徒との交流
- 29 (火) 附属中学校の生徒との交流
弁当再開日
- 30 (水) 附属小学校願書提出 (年長保護者)